

2012年度
関西学院大学ロースクール
A日程

一般入試（法学既修者）

民事訴訟法 問題

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【民事訴訟法 問題】

Xは、いずれ自己の住居を建てるつもりで、A土地を購入したが、その後、Yが不法にA土地を占拠し、B家屋を建築して居住していることが判明したとして、Yに対しB家屋を収去してA土地を明け渡せ、との判決を求める訴えを提起した（以下「本訴」という）。これに対して、Yは、請求原因をすべて認めたとうえで、Xから同土地を賃借したと主張し、争っている。

次の各問いに答えよ（各小問は独立の問いである）。解答に当たっては、結論だけではなく、結論に至った理由を適用法条および専門用語を使って論述すること。

問1 審理の結果、X・Y間にA土地の賃貸借があるともないとも認定できなかった場合、裁判所は、いかなる判決をすべきか。

問2 本訴の第一審では、Xが勝訴し、Yの控訴なく確定した。ところが、その後、ZがYからB家屋を本訴の口頭弁論終結後に賃借していたことが判明した。この場合、X勝訴の確定判決の効力（既判力）はZに及ぶか。